



栃木市

©2014 栃木市とち介

自治会連合会だより

令和8年

3

第19号

月号

発行

印刷
編集

栃木市自治会連合会

栃木市入舟町 6-8

☎ 24-0352

FAX 24-0353

(株)博報社関東本社

神奈川県厚木市

愛甲 1-8-39

☎ 046-280-6001



会長あいさつ

会長代行 厚木 秀夫

自治会の皆さん方におかれましては、日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、栃木市の状況ですが、人口も15万人ほどに減少し、自治会も一つ減って468自治会となりました。さらに、少子高齢化もますます進んでまいり、自治会もそれに迎合していかざるを得ません。何ができるか、どう進んでいくのかを見極める時期が來たかと思います。

本市におきましては、令和3年度より小中学生全員にタブレットが貸与され、当時中学生だった方々が、間もなく20歳になろうとしています。誰もが普通にデジタル機器を使いこなし、現在の社会とは全く別次元の未来が始まるでしょう。

そのような時代の変遷の中で、まずは小さなことから始めましょう。自分の身近にある問題を持ち寄

り、皆で共有し、解決策を見いだすのが良いかと思われます。三人寄れば文殊の知恵と申します。各自治会でも年数回の集まりがございましょう。緊急の時は、自治会長に相談するのが良いでしょう。

喫緊の課題は、自治会加入率の減少です。現在の加入率は70%を下回っておりますが、自治会によっては伸びしろがございます。

昨今、北海道や東北地方、本県におきましても群発地震が発生しております。さらに、ほかの災害等も頻発しており、まさに災害列島です。

明日は我が身、もしもの時のための自治会をアピールしましょう!!

他にも様々な妙案があるかと思います。皆さま方のお知恵を拝借いたし、一緒に歩んでいきましょう。

私は、歴史と寛容さにあふれる地方都市、そんな栃木市が大好きです。

私たちちは栃木市自治会連合会を応援しています

自治会運営のデジタル化に関するアンケート集計結果報告

7月26日(土)、都賀総合支所におきまして、自治会連合会自治会長研修大会を開催し、「自治会運営のデジタル化」についての事例発表や、業者からの説明をいただきました。

その後、自治会長よりアンケートにご回答をいただきましたので、その結果についてお知らせいたします。

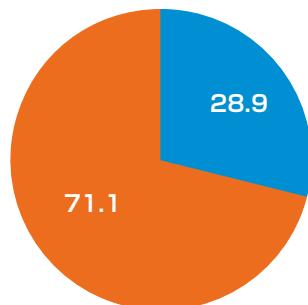


自治会運営のデジタル化とは

- 一例を挙げますと、
・回覧板で回している情報や地域のイベント、災害情報、避難情報などをスマートフォンから入手(確認)できる仕組みを作ること。

※「できることからやってみよう」を基に、簡単なことから取り組んでいけるよう説明会を開催しました。
すべての自治会に強制ではなく、「取り入れたい」「やってみたい」という自治会があれば、さらに詳しい内容をお知らせしたいと思います。

- 1 7月26日に開催した自治会連合会研修大会に参加しましたか。

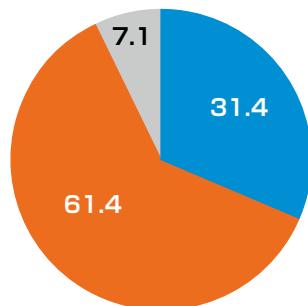


■ はい→69件
■ いいえ→174件

出席した自治会は69自治会で、全体の約15%だった。

※設問2以降は、研修大会に参加した自治会のみが対象になっている

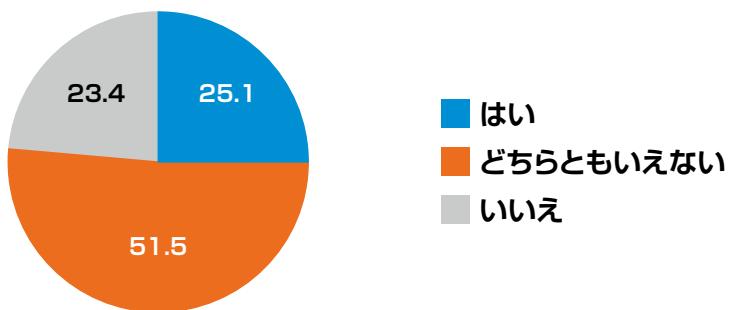
- 2 今回の研修会に参加して、自治会活動のデジタル化の必要性を感じましたか。



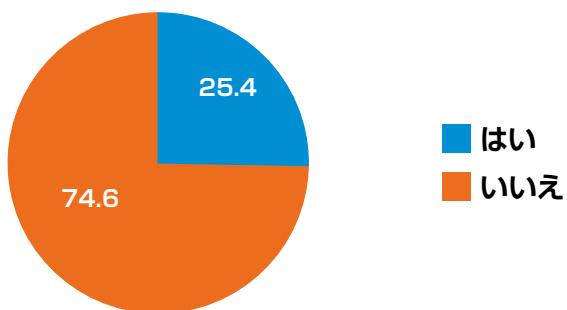
■ はい
■ どちらともいえない
■ いいえ

私たちは栃木市自治会連合会を応援しています

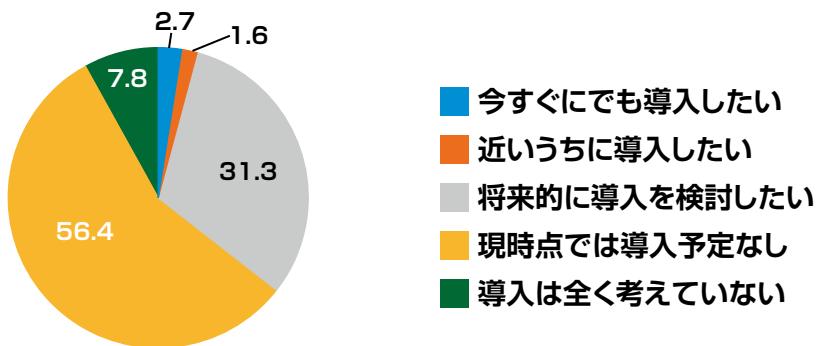
3 現在、自治会運営にあたり自治会活動のデジタル化の必要性を感じていますか。



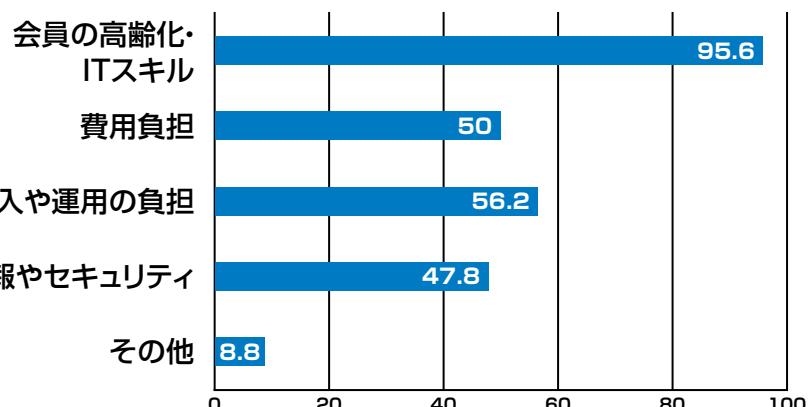
4 現在、自治会運営で、何かデジタルツールを活用していますか。



5 自治会としてデジタルツール（自治会アプリ）を今後導入する意向はありますか。



6 導入するにあたり、課題だと感じるものはどのようなことですか。（複数回答可）



私たちは栃木市自治会連合会を応援しています

主な意見

- 連絡事項が手元に残る、連絡のスピード化、ペーパーレス化、災害時の緊急連絡、安否確認の迅速化などメリットは多々あるが、高齢者のスマホ対応の問題、停電や通信障害発生時には連絡不能などのデメリットもある。役員、班長レベルの連絡等はLINEでも対応可と思われるが、自治会員にまで落とし込むには難しいと感じる。
- 情報の伝達がタイムラグなく、複数人に伝わるのは良い

いですね。ただ、使いこなせる高齢世帯がどのくらいあるかは未知数です。

- 市内一斉導入はハードルが高いと思うし、自治会によっても年齢層や地域性もあると思うので、まずはいくつかの自治会で試験導入してから判断をするべきでは?
- 今後、LINEグループ作成を検討したいと思った。回覧板のデジタル化についてもメリットが大きいので、導入の必要性を感じた。
- デジタル化により、自治会のつながりが希薄になるのではないかと心配。

今後、各自治会からのご意見をいただきながら、以下の案の中から進めていきたいと考えています。

案1：各自治会が個別にアプリを導入し、自治連が導入経費の一部を支援する。

自治会の実情に応じて柔軟に導入を進められる方。アプリ導入を希望する自治会から、段階的にデジタル化を促進する。

案2：自治会連合会で共通アプリを導入し、希望する自治会が利用する。

統一的なシステムを導入することで、運用の効率化と回覧や連絡、会費徴収等の標準化を図る方。初期調整が必要だが、長期的効果が大きい。

案3：アンケート結果を踏まえ継続検討

アンケート結果や高齢者層への配慮から、現時点では金銭的な支援は行わず、事例研究を進めながら、自治会アプリ導入だけでなく、他の方法でのデジタル化も検討を継続する。



自治会活動についての記事を募集します

自治会連合会だよりでは、自治会間の情報交換の場として、自治会活動に関する記事を募集します。自治会活動の周知や成功事例の周知など自治会活動の活性化にご活用ください。

募集時期 隨時 ※発行のスケジュールにより掲載時期が異なります。

※次回発行は9月ごろを予定しています。次回掲載を希望される場合には6月30日を目安にご提出ください。

募集記事 自治会活動に関すること

その他ご不明な点等ございましたら、事務局までお問い合わせください。

応募方法 自治会名、氏名、住所、電話番号を明記のうえ、メール、FAX、窓口にて原稿、写真等を提出ください。

※様式の指定はございませんが、200~300文字程度とさせていただきます。

※記事を掲載できない場合がございます。予めご了承ください。

※写真等はデータ(JPEG形式)で提出ください。

また、人物が写っている場合には、了承を得てから提出してください。

データでの提出が難しい場合には直接お持ちください。



栃木市自治会連合会事務局

〒328-0016 栃木市入舟町6-8
(きららの杜とちぎ蔵の街楽習館内)
電話:0282-24-0352
FAX:0282-24-0353
e-mail:chiiki@city.tochigi.lg.jp

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報誌に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本誌は誌面を通じて会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様にシニアクラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【栃木市自治会連合会】

私たちは栃木市自治会連合会を応援しています

--	--	--	--